

1 後の□内のひらがなを漢字に直して()に入れ、対義語・類義語を作りましょう。□内のひらがなは一度だけ使い、()内に「字記入」しましょう。

応答—()	疑	対義語	使命—()	務	類義語
継続—中()			介抱—看()		
軽率—慎()			努力—()	闘	

ぎだん ふん ちようご じつ

2 ①〜③の三つの□に共通する漢字を入れて熟語を作りましょう。漢字はア〜カから一つ選び、()の中に記号で答えましょう。

① 追 □	・	第 □	・	普 □	()
② 太 □	・	舞 □	・	笛隊 □	()
③ □動	・	乱 □	・	物 □	()

ア騒 イ究 ウ及 エ鼓 オ振 カ古

3 次の漢字の部首を書きましょう。(例) 語 (言)

① 曇 ()	② 産 ()
③ 朱 ()	④ 薄 ()

4 次の—線のカタカナにあてはまる漢字をそれぞれのア〜オから「字」選び、()の中に記号で答えましょう。

① 運動会の準備にヨ念がない。	()
② 科学の進歩に寄ヨする。	()
③ 最優秀賞の栄ヨに輝く。	()

「ア与 イ預 ウ予 エ余 オ誉」

① 伝統音楽の復興を支エンする。	()
② 二人は良エンに恵まれて結婚した。	()
③ 私鉄のエン線は便利だ。	()

「ア縁 イ延 ウ援 エ浴 オ鉛」

5 次の各文にまちがって使われている同じ読み漢字が「字」あります。上に誤字を、下に正しい漢字を記しましょう。

① 新人賞を受賞し、一躍注目を集めた選手が新年の抱布を話した。	誤 ()	正 ()
② 自分の夢をかなえるために、海外に進出するスポーツ選手が殖えた。	誤 ()	正 ()
③ 自分の今の力を考えると、人並みの努力では到抵先輩に追いつけない。	誤 ()	正 ()

*対象級 / 4A、4B、4C
*このような形式で出題されますので、ご家庭での漢字学習の参考にしてください。

6 文中の四字熟語の—線のカタカナを漢字に直しましょう。

① いいわけをしたら問答無ヨウとしかかられた。	()
② ミスをシン小棒大に言われた。	()
③ 一心不ランに走り続ける。	()
④ 犯罪組織は一網ダ尽にされた。	()
⑤ そうじをしないで帰るなんて言語ドウ断だ。	()

7 熟語の構成のしかたには次のようなものがあります。

ア 同じような意味の漢字を重ねたもの。	(例：岩石)
イ 反対または対応の意味を表す漢字を重ねたもの。	(例：高低)
ウ 上の字が下の字の意味を修飾しているもの。	(例：直線)
エ 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの。	(例：着席)
オ 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの。	(例：非常)

次の熟語は、右のア〜オのどれにあたるか、記号で答えましょう。

① 陰陽 ()	② 不眠 ()	③ 変更 ()
④ 授受 ()	⑤ 奇襲 ()	()

8 次の—線の漢字をそれぞれひらがなに直しましょう。

① 両者互角の実力だ。	()
② 被災地に助けを派遣する。	()
③ 図書館で本を黙読した。	()
④ 人命の大切さを訴える。	()
⑤ 危険を冒して進んだ。	()
⑥ 毎年恒例のイベントだ。	()

9 次の—線のカタカナをそれぞれ漢字に直しましょう。また、送り仮名がある場合は、送り仮名も書きましょう。

① シュミに打ち込む。	()
② イジンの本を読む。	()
③ 友達のナヤミを聞く。	()
④ 仕事がヒマだ。	()
⑤ 昨日の夢をセンメイに覚えている。	()
⑥ キョダイな足跡を見つける。	()
⑦ 夏休みにリトウに行きたい。	()
⑧ 暑いためウデまくりをする。	()
⑨ カンソウ機を使う。	()
⑩ 神様にイノル。	()
⑪ キオクをたどる。	()
⑫ 君の手をニギル。	()